

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU
MOVE

SUBARU
STELLA

専用シートカバー取付説明書



SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

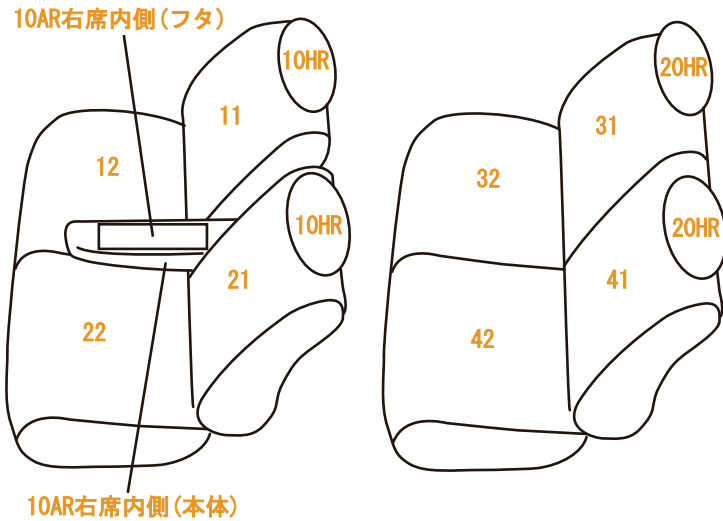
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…➔ 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…➔ 3P～4P
1 列目運転席座面の装着方法	…➔ 5P～10P
1 列目助手席座面の装着方法	…➔ 11P～12P
1 列目背もたれの装着方法	…➔ 13P～16P
コンビニフックの加工方法	…➔ 17P～18P
2 列目座面装着方法	…➔ 19P～22P
2 列目背もたれの装着方法	…➔ 23P～24P
ヘッドレストの装着方法	…➔ 25P～26P
アームレストの装着方法	…➔ 27P～29P
完成図	…➔ 30P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…➔ 31P～32P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ(ソケット : 14mm)
- ② エクステンションバー (10cm以上)
- ③ プラスドライバー
- ④ クラッツィオ 専用ヘラ(付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。

事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。

- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつくなる場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
 - ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
 - シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
 - 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
 - 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
 - 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
 - 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。
- またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適 空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。
※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。
その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 2 シートを上から見た状態です。
通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



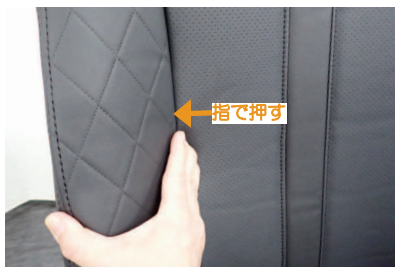
- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。
この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。
SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることになります。
位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

シートカバーの装着にはシートの裏側での作業があります。シート裏側には鋭利な金属部品もありますので怪我をされないように注意して作業を行ってください。



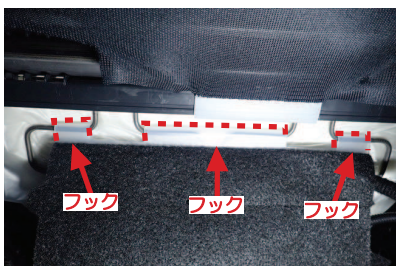
- 1** シートカバーを装着する前に、シートリフターでシートを一番高い位置へ調整しておきます。
こちらの作業を行わないと、17番の作業が行えなくなります。



- 4** シート背面の下部分です。
シートの背面からシート裏を覆っている図の生地を固定を外します。



- 2** シートリフターのレバーをシートから外します。
始めに図のキャップをへうなどを使用して外します。



- 5** 図はシートの前側からシートの裏側を映した図です。
4番の生地がシート裏の金属フレームに固定されています。



- 3** キャップを外すと、中にネジが1本あります。
ネジをドライバーを使用して外すと、シートリフターのレバーが外れます。



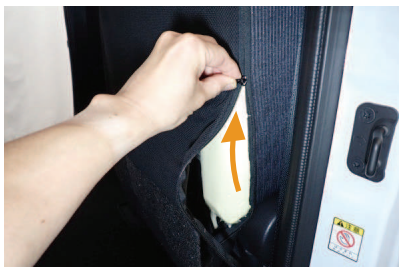
- 6** 生地の上に付いているフックを金属フレームから外します。



- 7** フックを外すと生地がめくれます。
生地の内側にゴムが2本、金属フレームにかかっています。こちらのゴムも金属フレームから外します。



- 8** シートの背面の両端にファスナーが付いています。
ファスナーの先端をシート表皮の内側から取り出します。
まず、図の生地を引き出して、ファスナーの先端部分を取り出してください。



- 9** ファスナーを開けます。
外側・内側共にファスナーを開けてください。
ファスナーは全開にせず、全開の5センチ手前ぐらいで停めておくと、閉じる際に閉じやすくなります。



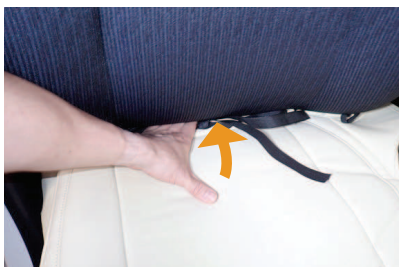
- 10** 4番の生地の固定を外して、シート背面のファスナーを開けると、シートの背面側が大きく開きます。
4番の生地部分に配線通っているので完全にめくり上げることはできません。
この状態からシートカバーの装着を行っていきます。



- 11** シートの背面から映したアームレストの下部部分です。
こちらからシートカバーを引っかけるようにして、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 12** 11番で引っかけた部分を軸として、シート全体にカバーをかぶせていきます。



- 13** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行ってください。



- 14** シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。



- 15** シートの外側です。
リクライニングレバーの内側にカバーを通します。
シートリフターの軸部分にカバーの加工穴を合わせます。



- 16** シート外側のカバーの端に付いているマジックテープのベルトを、シートとプラスチックパーツの隙間を通して入れ込みます。
この際、シートとプラスチックパーツの隙間に、カバーの端も入れ込んでください。



- 17** シートの前側からシート裏の外側を映した図です。
16番で入れ込んだマジックテープのベルトを引き出します。
こちらの作業は**1番**でシートを一番高い位置に調整していないとできません。



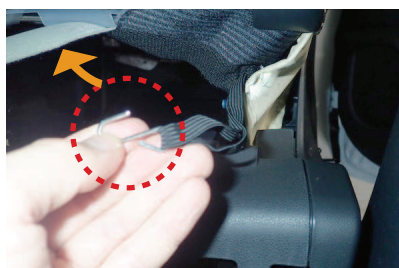
- 18** マジックテープのベルトの先端を、シート裏の金属フレームに巻き付けて固定します。



- 19** リクライニングレバーの図の部分に、カバーの端に付いている固定部材を入れ込み固定します。
固定部材を入れ込みにくい場合は、赤丸部分のネジを、プラスドライバーを使用して緩めると入れ込みやすくなります。



- 20** リクライニングレバーの軸部分の下側に生地を入れ込みます。
ゴムの説明は **21** 番で行っています。



- 21** **20番**の位置にゴムが付いています。
ゴムに付属の金属フックを取り付けます。
ゴムをシートの裏側へ入れ込みます。



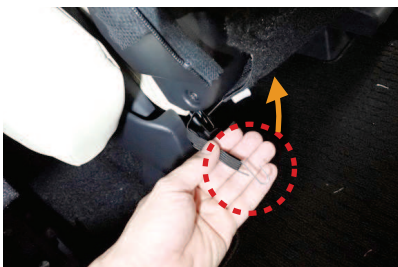
- 22** 金属フックをシート裏の金属フレームに引っかけて固定します。



- 23** シートベルトのバックルが出ているシートの隙間に、生地を入れ込みます。



- 24** シートの背面から入れ込んだ生地を引き出します。



- 25** 引き出した生地の上にゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けます。ゴムをシートの裏側へ入れ込みます。



- 28** シートの前側からベルトを引き出します。



- 26** 金属フックをシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



- 29** 引き出したベルトをカバーの前側に付いているバックルに通して固定します。この際ベルトは、スライドレバーの上を通すようにしてください。



- 27** 14番で引き出した生地に付いているベルトを、シートの裏側を通してシートの前側に入れ込みます。



- 30** ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まず、バックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意してください。



- 31** シート前側の裏側は図のようになります。



- 32** シートリフターのレバーを元通りに固定します。



- 33** カバーのラインを整えて、運転席座面の完成です。
4番の生地は、背もたれカバーを装着している途中で元に戻します。

Step 2

…> 1 列目助手席座面の装着方法

※助手席座面の装着方法は、運転席と異なる部分だけ説明させていただきます。
そのため、一部は運転席の説明を参考にシートカバーの装着を行ってください。



- 1 シートの背面からシート裏を覆っている生地を外します。
この際、外側のゴムの固定を外すには、カブラーを固定しているプラスチックパーツを外さないとゴムが外せません。このプラスチックパーツを金属フレームから外してゴムを外してください。



- 2 側面のファスナーを開けると、シート背面の生地は図のように開きます。



- 3 運転席と助手席の隙間に生地を入れ込みます。



- 4 シートのラインに合わせて、シートの前側からシート全体にカバーをかぶせます。
シートの先端に生地がしっかりと張るようにカバーをかぶせてください。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



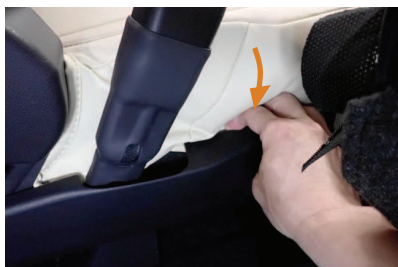
- 7** シートの外側です。
カバーの端に付いている固定部材とカバーの端をシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 8** リクライニングレバー下のプラスチックパーツの隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 9** シートの内側です。
助手席を一番前にスライドさせて運転席は一番後ろにスライドさせます。
この状態でシートとプラスチックパーツの隙間に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 10** 助手席を一番後ろにスライドさせて運転席を一番前にスライドさせます。
この状態でシート内側の固定部材の付いた生地の後ろ側を、プラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



- 11** 6番で引き出したベルトをシートの前側へ入れ込み、カバーの前側に付いているバックルに通して固定します。



- 12** カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

Step 3

…> 1 列目背もたれの装着方法

助手席の背面に付いているコンビニフックを使用される場合は、シートカバーに穴を開けて、取り付けいただく必要があります。コンビニフックを使用される場合は、17ページ1番から3番を確認していただき、コンビニフックを外した状態でシートカバーの装着を行ってください。



- 1 始めにアームレストをシートから外します。
図はアームレストのキャップです。
キャップには2か所のツメがあります。



- 2 キャップをアームレストから外します。
キャップを外す際は、1番のツメ部分をへうなどで押して、手前に引いて外してください。
無理やり外そうとするとキャップが変形するので注意してください。



- 3 アームレストを固定しているボルトを外します。
ソケットレンチとソケット14mm、10cm以上のエクステンションバーを使用してボルトを外します。
ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。



- 4 カバー両側面のファスナーを開けた状態にしておきます。
シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



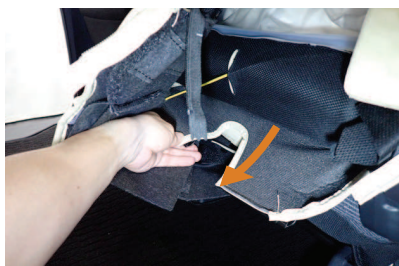
- 5 ヘッドレストの台座を取り出します。
まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



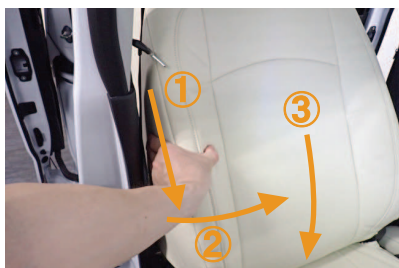
- 6 生地の伸びを利用して台座を取り出します。
革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。
生地が裂けてきても慎重に作業を行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 7** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
入れ込む生地にはフックが付いています。
フックでカバーを傷付けないように注意してください。



- 8** 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 9** ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を**8番**と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



- 10** **8番**で引き出した生地の端に付いているフックを、純正シート地を固定しているフックの上から引っかけて固定します。



- 11** フックを引っかける部分は、ツメの先に金属部品があり、奥まではまらないようになっています。
通常は、フックに隙間ができないように固定しますが、こちらでは仕様上、少し隙間ができる状態で正しい固定となります。



- 12** フックを固定すると図のようになります。

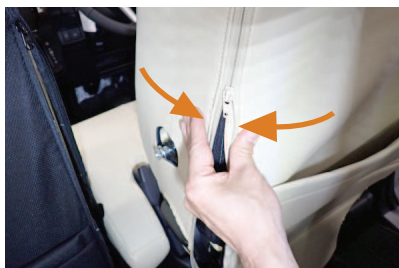


注意

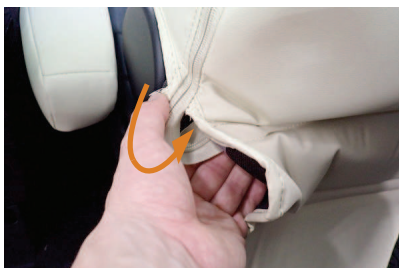
サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



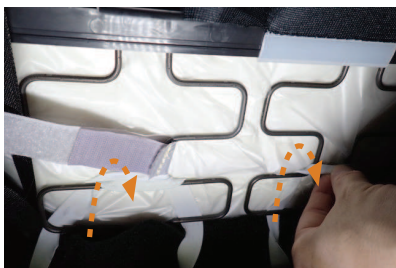
- 13** 6ページ9番で開いた純正シートのファスナーを閉じます。



- 14** カバーのファスナーを生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 15** ファスナーの端をカバーの内側に入れ込みます。



- 16** 運転席は5ページ4番、助手席は11ページ2番の生地を、元通りに固定します。
運転席は6ページ7番で外したゴムを、金属フレームに引っかけて固定します。
助手席も同様に作業を行い、11ページ1番で外したプラスチックパーツも元通りに固定してください。



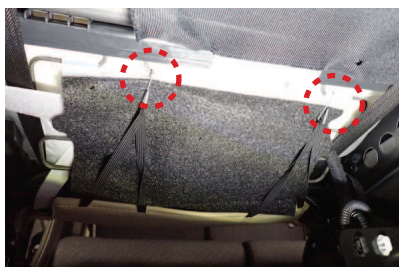
- 17** 運転席は5ページ6番で外したフックを、金属フレームに引っかけて固定します。
助手席も同様に作業を行ってください。



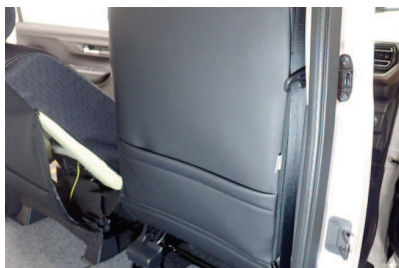
- 18** 運転席です。
固定した生地を、カバーに付いているマジックテープを直接貼り付けて固定します。
助手席は23番を確認してください。



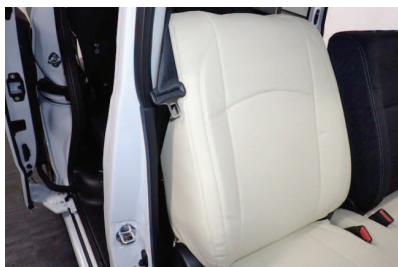
- 19** 運転席のカバーの背面下にはゴムが2本付いています。
ゴムに付属の金属フックを取り付けます。
助手席のカバーにゴムは付いていません。



- 20** ゴムをシートの裏に入れ込み、金属フックをシート裏の金属フレームに引っかけて固定します。



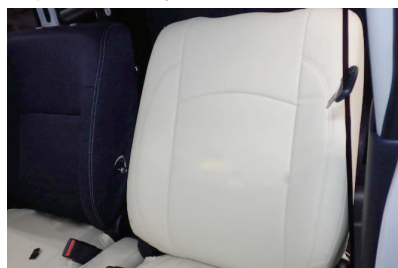
- 21** シートの背面は図のようになります。



- 22** カバーのラインを整えて、運転席背もたれの完成です。
助手席は**18番**の部分が運転席と仕様異なります。**23番**を確認してください。



- 23** 助手席です。
助手席は**18番**のマジックテープを貼り付ける部分のシートの形状が異なります。図のようにマジックテープを固定します。
また、助手席のカバーには**19番**のゴムは付いていません。



- 24** カバーのラインを整えて、助手席背もたれの完成です。
助手席のシート背面に付いているコンベックを使用される場合は、カバーに穴開け加工をする必要があります。そちらの説明は17ページ・18ページを確認してください。

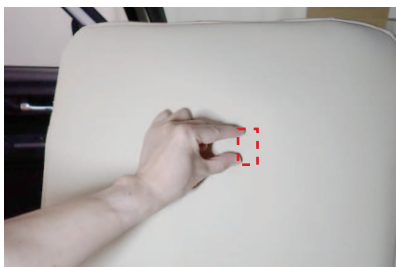
Step 3

…> コンビニフックの加工方法

コンビニフックをご使用にならない場合、本作業は不要です。ただし、シートカバー装着後、コンビニフック部分がカバーからわずかに浮き上がることがあります。気になる場合は、コンビニフックをシートから取り外してください。



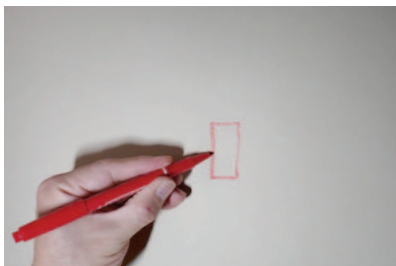
- 1** 始めにコンビニフックの形状を確認してください。
コンビニフックは図のように上側の大きなツメと、下側の小さなツメでシートに固定されています。



- 4** シートカバーをかぶせてコンビニフックが固定されていた位置を確認します。
カバーに穴開け加工を行う前に、カバーがシートのラインからずれていないか確認してください。



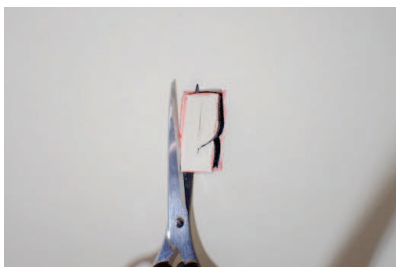
- 2** コンビニフックのフックを半分ほど出した状態で、ヘラを差し込み下側のフックを浮かせるようにします。



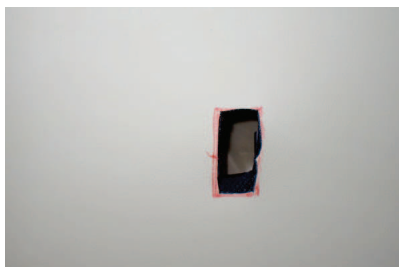
- 5** 確認した位置に図のように印を付けます。
始めは少し小さめに印を付けるようにしてください。



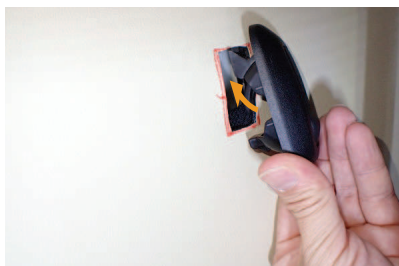
- 3** 下側のツメを浮かせてフックを手前に引くとシートからコンビニフックが外れます。



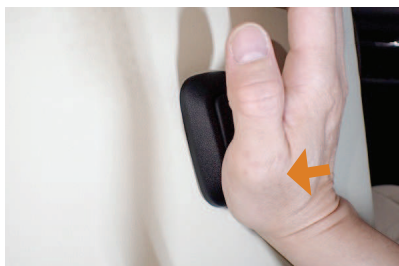
- 6** 印に沿って生地を切り取ります。
生地を切る際は、シート表皮を傷付けないように注意してください。



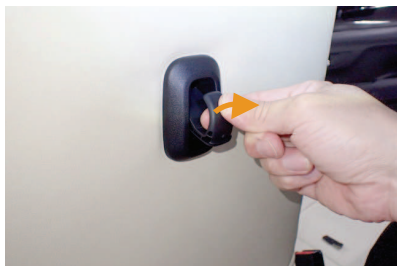
- 7** 生地を切り取った穴からコンビニフックの加工位置を確認してください。



- 8** コンビニフックをシートに戻します。まず上側のツメを引っかけます。



- 9** 下側のツメが引っ掛かるようにコンビニフックの下側をしっかりと押します。強く押しすぎるとシート内側の金属のフレームが曲がる恐れがありますので、注意してください。



- 10** コンビニフックが固定できたと思ったら、フック部分を軽く引っ張り確認してください。固定できていない場合は、生地のを少しずつ広げてみてください。



- 11** コンビニフックの完成です。



- 12** 補足です。
9番の作業でどうしてもコンビニフックが固定できない場合は、シート側の留め具を少し手前に起こすと、コンビニフックが固定されやすくなります。
こちらの作業を行うにはマイナスドライバーなどを用意して、図のように真横から工具を差し込み、てこの原理でコンビニフックの下側のツメが引っかかる金属の留め具を手前に起こします。数値にして1～2mm程度です。これで再度コンビニフックの固定を試してください。
こちらは無理に行うとシートのフレーム自体を变形させかねません。作業は慎重に**自己責任**で行ってください。

Step 4

…> 2列目座面の装着方法



- 1** シートの内側からカバーを装着していきます。
運転席側を一番前にスライドさせて、助手席側のシートを一番後ろにスライドさせます。シートの隙間にカバーを入れ込むようにかぶせていきます。



- 2** シート全体にカバーをかぶせて、シートのラインに合わせます。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4** 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。
この際、金属部分を交わしながら生地を引き出してください。
荷室側から、ラゲッジフラップをめくり上げて作業を行うと、生地が引き出しやすくなります。



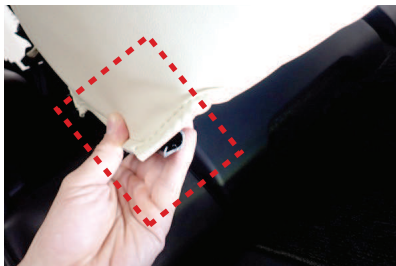
- 5** 引き出した生地の手端に付いているベルトをシートの裏から前側へ入れ込みます。



- 6** シートの前側からベルトを引き出します。



- 7** ベルトをシート前側のカバーに付いているバックルに通して固定します。バックルの固定方法は9ページ**30番**を参考にしてください。ベルトは必ずスライドレバーの上側を通して固定してください。



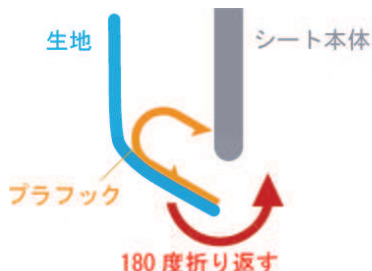
- 8** シートの外側です。カバーの端にフックが付いています。



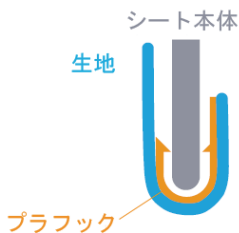
- 9** 図はフック部分が見やすいようにした断面図です。フック部分を180度回転させて、シートのフチに引っかけるように固定します。詳しくは**10番**から**12番**のイラストを確認してください。



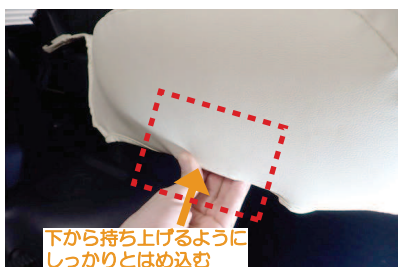
- 10** ブラフックの固定方法を分かりやすく説明するためにイラストを使って紹介します。



- 11** ブラフックは、生地と共に180度折り返してからシート本体に下から上に引っ掛けるようにします。



- 12** 正しく固定すると、このようになります。



下から持ち上げるように
しっかりとめ込む

- 13** ブラックを固定すると図のようになります。フックはシートのフチにしっかりとめ込まないとすぐに外れてしまいます。フックを引っ掛けて奥まではめ込むように持ち上げて固定してください。



- 14** シート外側の後ろ側も同様にブラックを固定します。



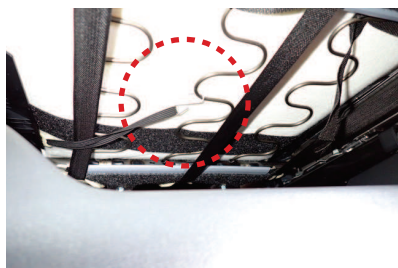
- 15** シート外側のプラスチックパーツ部分です。シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。図の赤線部分は生地が入り込まない部分になります。



- 16** シート外側の一番後ろ側のカバーには、ゴムが付いています。ゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込みます。



- 17** ゴムをシートの裏から引き出します。



- 18** ゴムに付属の金属フックを取り付けて、シート裏の金属フレームに引っかけて固定します。



- 19** シートの内側です。
外側同様に前後2箇所あるブラックを固定します。
後ろ側のフックはシートをスライドさせても表からは見えません。手探りで作業を行うようになります。



- 20** シート内側のプラスチックパーツ部分です。
シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



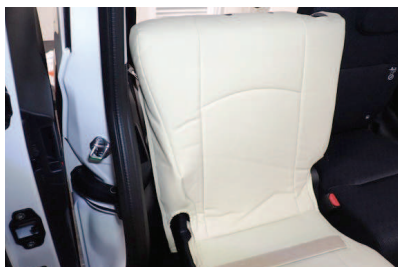
- 21** シート内側の一番後ろ側にゴムが付いています。
シート外側と同様にゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込み固定します。



- 22** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

Step 5

…> 2列目背もたれの装着方法



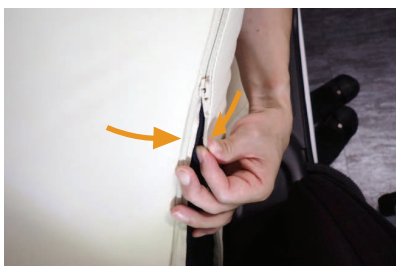
- 1** カバー外側面のファスナーを開けておきます。
シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



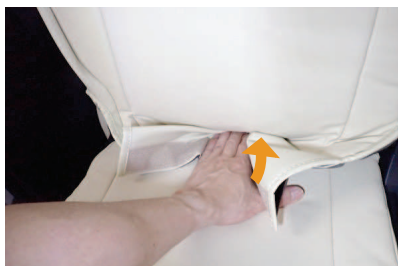
- 4** 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



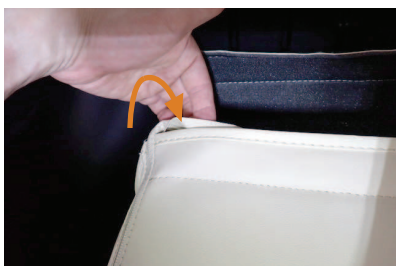
- 2** ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5** カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、工具などを使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



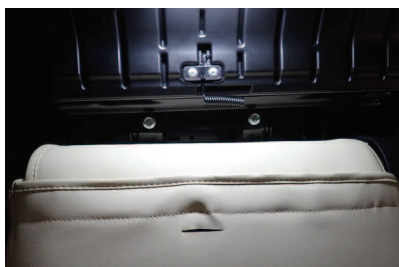
- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



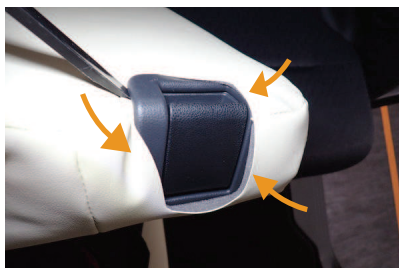
- 6** ファスナーの端をカバーの中へ入れ込みます。



- 7** 4番で引き出した生地と、カバーの背面下の生地をマジックテープで固定します。まずは軽く固定して、シートの表面側を確認してください。表面の生地にシワがある場合は、生地を引き出し直してください。



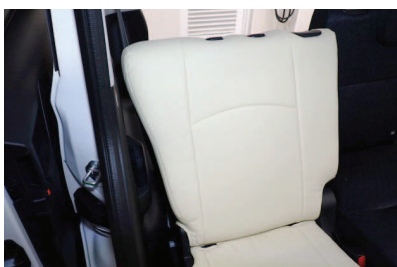
- 8** シート表面の生地にシワがなくなった位置でマジックテープを固定します。



- 9** シート肩口のリクライニングレバー周りの生地を、ヘラなどを使用してプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 10** 生地を全て入れ込むと、リクライニングレバー周りは図のようになります。



- 11** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

…> ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



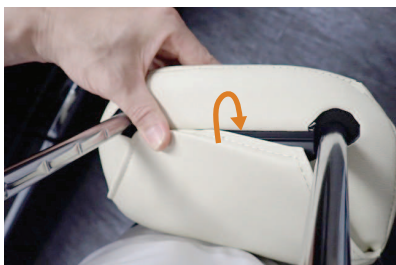
- 1** カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2** 裏返していた部分を左右均等に引き下ろしカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生지를寄せ合いながら、マジックテープを固定します。



- 4** ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5** ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6** ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 10** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。

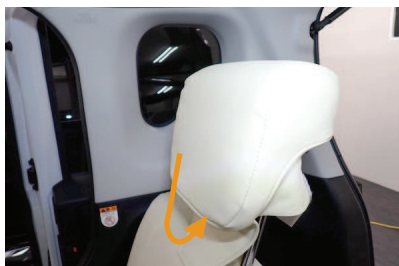
2列目ヘッドレスト



- 8** ヘッドレストの後ろ側の形状にカバーに沿わせるようにかぶせます。カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。カバーはヘッドレストの形状を見て前後を確認してください。



- 11** 1列目ヘッドレスト同様にブラックを固定します。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 9** ヘッドレストの前側にカバーを引っかけるようにしてかぶせます。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 7

…> アームレストの装着方法



- 1** 始めにドライバーを使用して、ボックスの底にある2本のネジを外します。ネジを外すとボックスがアームレストから外れます。



- 2** カバーの後ろ側のファスナーを開き、図のようにアームレストをカバーに入れ込みます。ファスナーは、アームレストを入れる際に負荷が逃げるようにするために開けておきます。



- 3** アームレストの前側にカバーをかぶせます。この時、アームレスト後ろ側上部の角にカバーが引っかかっている状態で作業を行います。
アームレスト前側の角を指で押しながら、カバーの切り込み部分が裂けないように、慎重にカバーをかぶせてください。



- 4** アームレスト後ろ側のファスナーを閉じます。



- 5** カバーをアームレストに馴染ませて、ボックスを元に戻します。この時、できるだけ生地を中に入れ込むイメージで作業を行ってください。



- 6** ボックスを下へ押し込みながら、1番で外したネジを固定します。図では片手になっていますが、軽く押さえるだけではネジが届かない為、少し体重をかけながらボックスを押し込み、押し込みながらネジを回すイメージで作業を行ってください。



- 7** カバー両側面の加工穴と、アームレストの固定部分の位置が一致していることを確認し、アームレスト（本体）の完成です。
穴位置がずれている場合はカバーを調整してください。



- 8** アームレストのフタにカバーをかぶせます。始めに、ドライバーを使用してフタをロックするツメを外します。図のネジを2本外すとツメが外れます。



- 9** フタにカバーをかぶせます。表面にマジックテープが付いている方が、フタの上面に来るようにかぶせてください。



- 10** 端にマジックテープが付いた生地を、フタの軸の間の隙間に入れ込みます。隙間は非常に狭くなっています。フタの角度を調整して、作業を行ってください。



- 11** 入れ込んだ生地を内側から引き出します。



- 12** 引き出した生地についているマジックテープと、カバーの裏側に付いているマジックテープを固定します。



- 13** 8番で外したツメの固定位置に印を付けます。
図のようにツメの辺りを指で押さえると、固定位置が生地の表面に浮かび上がります。



- 14** 印を付けた部分にハサミなどで穴を開け、ネジ穴部分を取り出します。



- 15** 生地を挟み込みながらツメを元通りに固定します。



- 16** アームレストをシートに戻します。



- 17** 生地を挟み込みながらキャップを閉じます。



- 18** カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

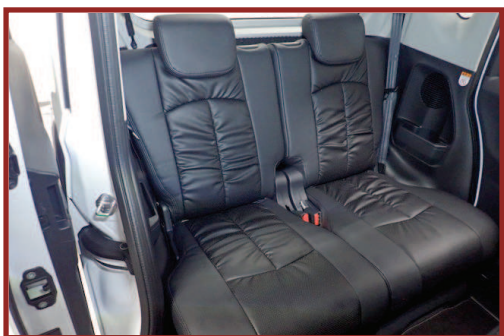
完成図



1 列目



1 列目背面



2 列目



2 列目可倒時



荷室側から



ロングソファモード

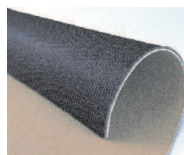


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。
長時間放置しておくとうれやシミが取れなくなります。
表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816